

(12) 供給処理施設

ア 供給処理施設（ごみ処理場等）

①サービス状況

本市では、廃棄物を衛生的かつ効果的に処理するため、ごみ処理施設として機能別に3ヶ所に分けて設置しています。

長門地区の渋木にある清掃工場では、本市で排出された可燃ごみについて焼却処理を行い減量化し、焼却灰はセメント原料として資源化しています。併せて、不燃ごみ及び粗大ごみは粗大ごみ処理施設にて破碎・選別処理しています。

清掃工場にほぼ隣接した長門市リサイクルセンターでは、資源ごみの選別・圧縮・梱包を行っています。

長門地区の西深川に設置した一般廃棄物最終処分場では、粗大ごみ処理施設で破碎・選別処理した後の不燃残渣やセメント原料に適さない「焼却残渣」を埋め立て処分しています。

◆ごみ処理場の概要

施設	項目	概要
焼却施設	施設名	長門市清掃工場（ごみ焼却処理施設）
	供用開始年	昭和56年
	処理能力	90t/日
	炉数	2炉（45t/16h）
	処理方式	ストーカ式
粗大施設	施設名	長門市清掃工場（粗大ごみ処理施設）
	供用開始年	平成15年
	処理対象	不燃ごみ、粗大ごみ
	処理能力	10 t/日
資源化施設	施設名	長門市リサイクルセンター
	供用開始年	平成13年
	処理対象	資源ごみ
	処理能力	4.9 t/日
最終処分場	施設名	一般廃棄物最終処分場
	埋立開始年	平成17年
	埋立地面積	3,300 m ²
	全体容量	13,000 m ³
	処理対象廃棄物	不燃物、焼却処理残渣

②建物状況

清掃工場のごみ焼却処理施設は、平成16年度にダイオキシン類への対策強化に伴い、

第3章 公共施設の現状

排ガス高度処理施設等の整備工事を行っていますが、昭和56年度の供用開始から約33年が経過しているため老朽化が進んでいます。

そのため、現在、萩市及び阿武町と共同でごみ焼却施設の建設整備を進めており、平成27年度から供用開始の予定で、広域のかつ効率的なごみ処理体制に移行していくこととしています。それまでの間は、現有焼却施設の適切な維持管理を行い、施設の安定稼働を継続していくことが必要です。不燃ごみ及び粗大ごみの処理施設については現有のものを継続して使用する予定です。

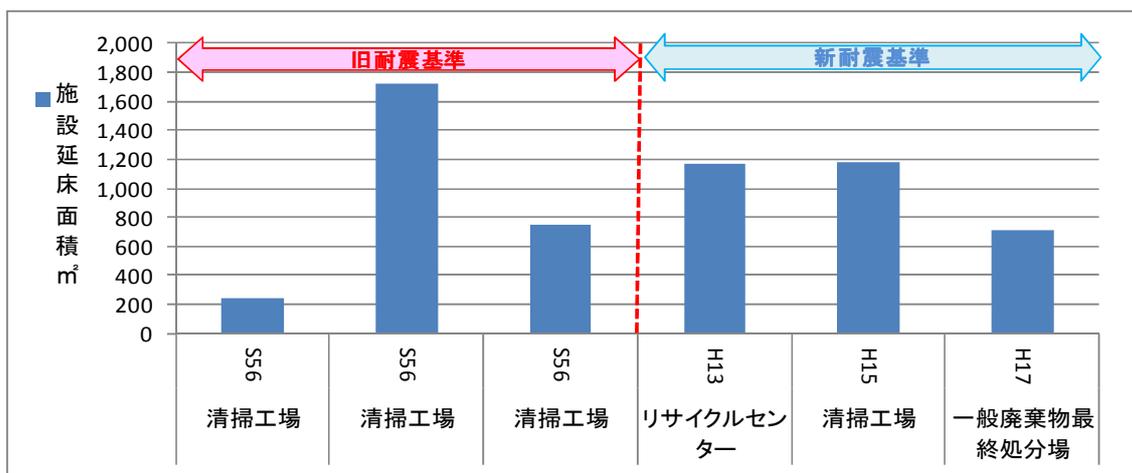
なお、リサイクルセンターが平成13年度、粗大ごみ処理施設が平成15年度、一般廃棄物最終処分場が平成17年度の供用開始であるため、耐震性もあり現在のところ老朽化はなく、当分の間は現状の機能が保たれます。

また、最終処分場については、平成24年度時点の残余容量は約9,372m³(全体の約30%を埋立済み)と余裕はあるものの、既存施設の延命化に向けてごみの減量化や適正分別を推進することにより、最終処分量の削減を行っていく必要があります。

◆建物一覧

No	建物名	併設施設	建設年度	構造	地上	地下	施設延床面積(m ²)	耐震化実施状況	
								耐震診断	耐震改修
1	清掃工場(管理棟)	—	S56	RC	3		246	未実施	未実施
2	清掃工場(焼却施設)	—	S56	S	3		1,719	未実施	未実施
3	清掃工場(旧粗大ごみ処理場)	—	S56	S	1		742	未実施	未実施
4	リサイクルセンター	—	H13	S	2		1,172	実施済み	不要
5	清掃工場(新粗大ごみ処理場)	—	H15	RC	2		1,177	実施済み	不要
6	一般廃棄物最終処分場	—	H17	RC	2		714	実施済み	不要
全体							5,770		

◆築年度別の整備状況



③管理運営及びコスト状況

清掃工場、リサイクルセンター、最終処分場の運営日及び運営時間は以下のとおりで

第3章 公共施設の現状

あり、リサイクルセンターにおける業務は委託していますが、それ以外はすべて市が直営で運営しています。

◆管理運営状況一覧

No	施設名	事業内容	管理形態	委託内容	開館状況		
					開館日		休館日
					平日	土曜日	定期休館日
1	清掃工場	ごみ処理業務	直営	—	8:30~16:30	8:30~12:00	日曜・祝日・年末年始
2	リサイクルセンター	空き缶・空き瓶・ペットボトル等の分別及び圧縮梱包	業務委託	投入・選別・保管作業及び施設保守等	8:30~17:00	—	土・日曜及び祝日・年末年始
3	一般廃棄物最終処分場	一般廃棄物最終処分場	直営	—	—	—	—

清掃工場の管理運営コストは、平成23年度から平成25年度の3カ年の実績で年平均約1億6,800万円に対し、収入は廃棄物処理手数料や有価物売却による収入など約3,000万円となっています。

同様に、管理運営コストはリサイクルセンターが約990万円、最終処分場は約526万円となっています。

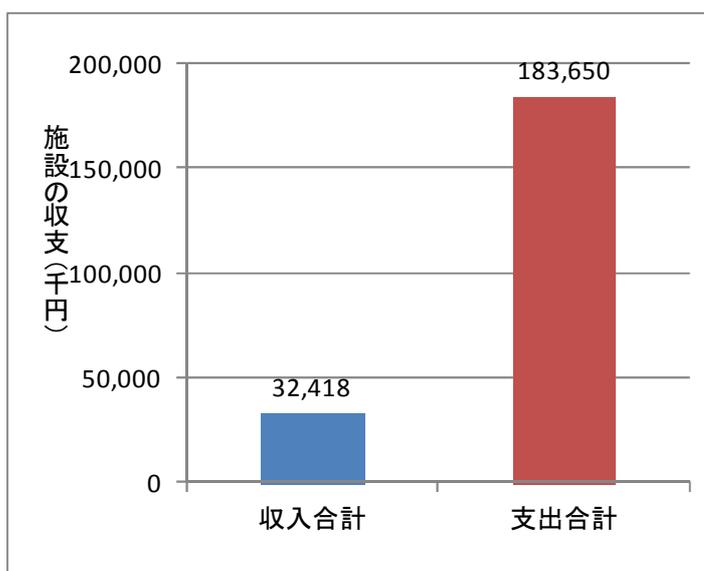
なお、「長門市一般廃棄物処理基本計画」によると、平成24年度における処理及び維持管理費（収集・中間処理・最終処分まですべて含む）は、ごみ1t当たり約23,900円、1人当たり約10,700円であり、平成22年度以降、処理及び維持管理費は減少傾向にあります。

◆維持管理経費の状況

No	施設名	併設施設	維持管理経費の状況 (千円)			
			H23	H24	H25	3年平均
1	清掃工場	—	58,476	63,796	63,229	61,834
2	リサイクルセンター	—	2,469	1,697	1,579	1,915
3	一般廃棄物最終処分場	—	4,195	4,517	7,081	5,264
	全体		65,140	70,010	71,889	69,013

◆ごみ処理施設の収支

No	施設名	収入(H23~H25年度平均)(千円)			支出(H23~H25年度平均)(千円)		
		使用料等	その他収入	収入合計	施設維持管理費	事業運営費	支出合計
		A	B	C=A+B	D	E	F=D+E
1	清掃工場	24,368	6,017	30,385	61,834	106,650	168,483
2	リサイクルセンター	0	2,033	2,033	1,915	7,987	9,902
3	一般廃棄物最終処分場	0		0	5,264	0	5,264
	合計	24,368	8,050	32,418	69,013	114,637	183,650



④利用状況

清掃工場における焼却処分量が過去3ヵ年平均で1万3,005t、粗大ごみ処理量が998t、リサイクルセンターにおける資源化量が363t、一般廃棄物最終処分場における処分量が348tとなっており、過去3年間では全体で増加傾向にあります。

また、通常のごみ収集車による収集以外で、利用者が直接清掃工場に持ち込んだ件数は、過去3ヵ年平均で年間約8,200件にのぼっています。

◆ごみ処理場の利用状況

No	施設名	指標	H23	H24	H25	3ヵ年平均
1	清掃工場(燃えるごみ)	処分量(t)	12,992	12,986	13,037	13,005
	清掃工場(燃えないごみ・粗大ごみ)	処分量(t)	924	1,056	1,015	998
	清掃工場(直接持込件数)	利用件数(件)	8,411	8,100	8,062	8,191
2	リサイクルセンター	資源化量(t)	375	363	352	363
3	一般廃棄物最終処分場	処分量(t)	323	335	385	348

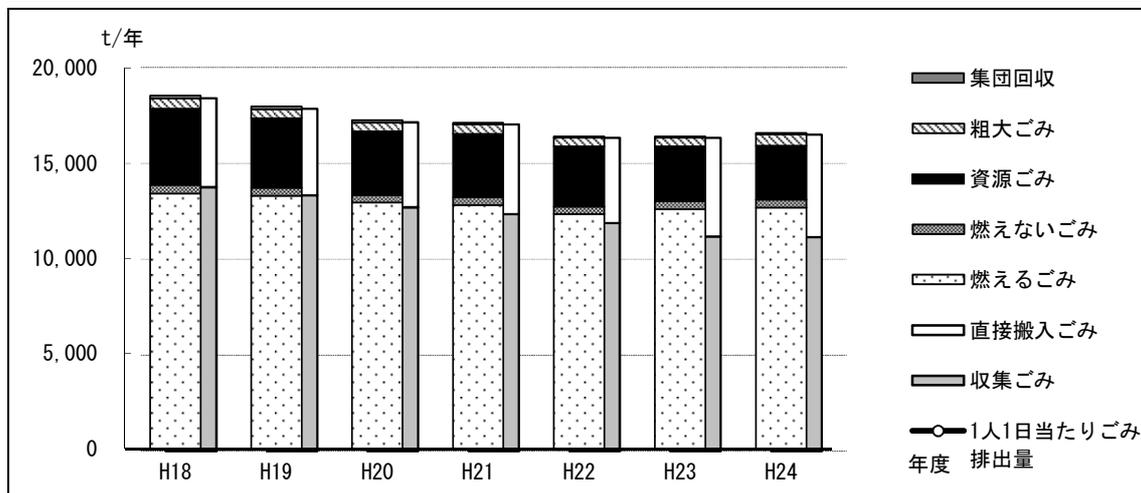
なお、「長門市一般廃棄物処理基本計画」によると、本市におけるごみの年間排出量は、年々減少傾向にあるものの、平成22年度から概ね横ばいで推移しています。

ごみ種類別にみると、資源ごみが年々減少しており、その他は緩やかな増加傾向となっています。収集、直接搬入別にみると、収集ごみは概ね減少傾向である一方、直接搬入ごみは増加傾向となっています。

◆ごみ排出量の推移

単位：t/年

		平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
人口（年度末）		41,536	40,852	40,242	39,788	39,124	38,513	37,803
燃える ごみ	収集	9,128	9,115	8,805	8,428	8,168	7,773	7,728
	直接搬入	4,270	4,175	4,117	4,360	4,158	4,814	4,925
	計	13,398	13,290	12,922	12,788	12,326	12,587	12,653
燃えない ごみ	収集	365	325	315	327	313	313	322
	直接搬入	104	87	78	84	76	105	106
	計	469	412	393	411	389	418	428
資源ごみ	収集	3,979	3,635	3,348	3,329	3,146	2,858	2,838
	直接搬入	31	26	25	21	21	20	17
	計	4,010	3,661	3,373	3,350	3,167	2,878	2,855
粗大ごみ	収集	294	263	250	269	262	247	275
	直接搬入	230	222	204	220	191	199	294
	計	524	485	454	489	453	446	569
合計		18,401	17,848	17,142	17,038	16,335	16,329	16,505
収集		13,766	13,338	12,718	12,353	11,889	11,191	11,163
直接搬入		4,635	4,510	4,424	4,685	4,446	5,138	5,342
集団回収		150	144	128	98	82	83	92
総合計		18,551	17,992	17,270	17,136	16,417	16,412	16,597

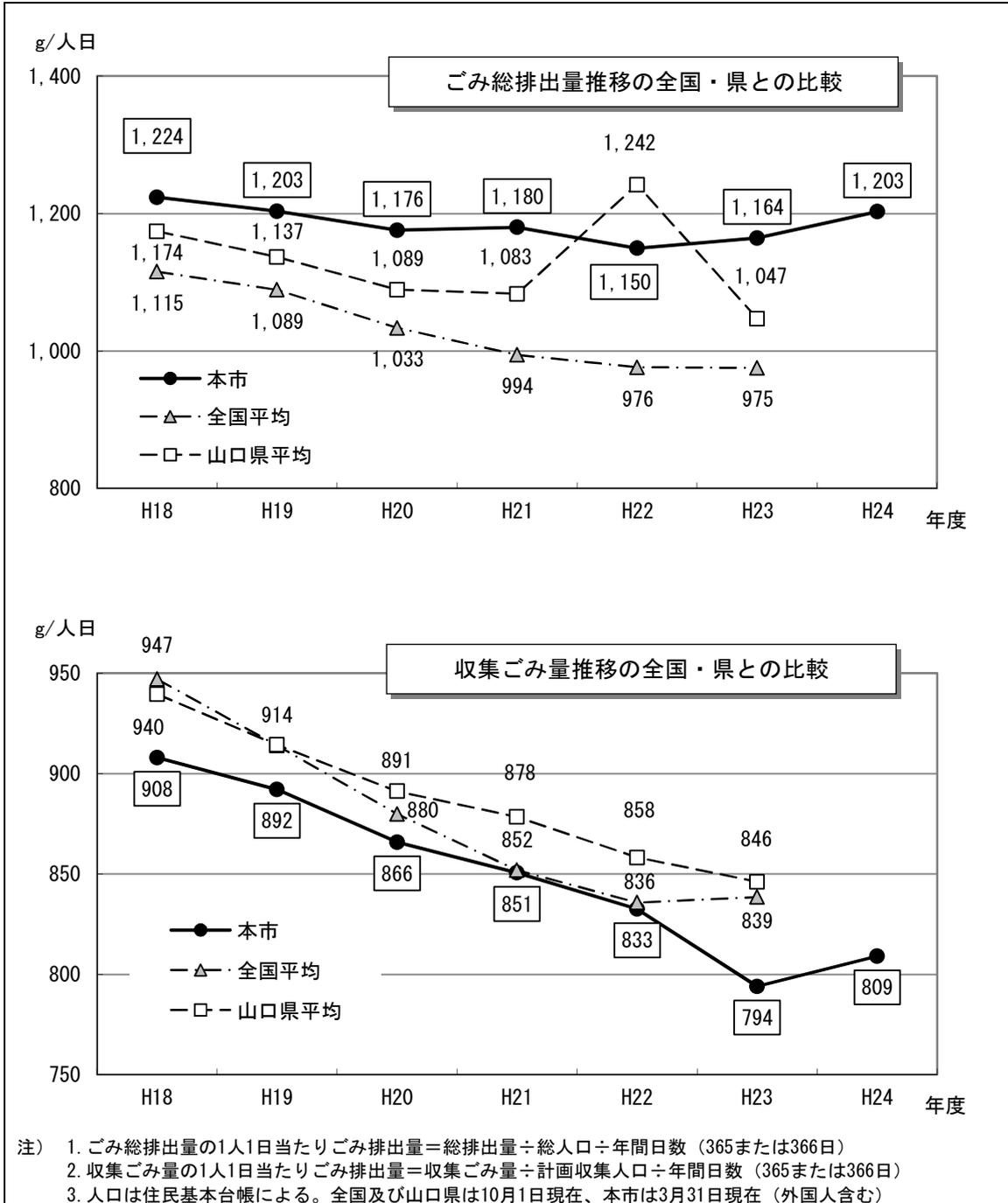


資料：長門市生活環境課

本市のごみ総排出量の1人1日当たりごみ排出量は1,200g前後の値で推移しており、全国平均、山口県平均と比較して100g以上多く、高い水準となっています。

一方で、収集ごみの1人1日当たりごみ排出量を見ると、年々減少しており、全国平均、山口県平均より低い水準となっています。

◆1人1日当たりごみ排出量



資料：環境省「一般廃棄物処理実態調査票」(全国及び山口県)

本市資料

⑤まとめ

本市のごみ処理施設として、可燃ごみの焼却処理と不燃ごみ及び粗大ごみの処理を行う清掃工場、資源ごみの選別を行うリサイクルセンター、焼却残渣などを埋立処分する一般廃棄物最終処分場があります。

清掃工場のごみ焼却処理施設は、供用開始後約33年が経過しているため老朽化が進ん

第3章 公共施設の現状

であり、現在、萩市及び阿武町と共同でごみ焼却施設の建設整備を進めており、平成27年度から供用開始の予定です。リサイクルセンター及び最終処分場は比較的新しい施設であり、引き続き適切な維持管理が必要です。

本市におけるごみの年間排出量は、人口減少傾向のなかで年々減少傾向にあるものの、各施設における過去3ヵ年の処分量は概ね横ばいで推移しています。また、本市のごみ総排出量の1人1日当たりごみ排出量は1,200g前後の値で推移しており、全国平均、山口県平均と比較して100g以上多く高い水準であることから、ごみの減量化が必要です。

また、管理運営については、リサイクルセンターの一部を除き、市の直営で運営しており、維持管理経費も概ね横ばいで推移しています。

今後も、業務の効率的な運営や経費削減についても検討するとともに、ごみ減量化に努めながら、各施設の処理量軽減や長寿命化を図っていくことが必要です。

